

三島森田病院

第8回 ホスピタリティ コンサート

音楽療法として、言葉を介さず一流の音楽により、心と身体の調子を整え
感動を体験することを目的としてコンサートを開催します

新原 輝美 & 榊原 紀保子 Flute & Piano Duo Concert

Program

- W.A.モーツァルト : 6つのソナタより第4番へ長調 K.V.13 (フルート&ピアノ)
- C.グルック : 歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」より『精霊の踊り』 (フルート&ピアノ)
- C.フリーリンク : 幻想曲op.55 (フルート&ピアノ)
- F.ショパン : 24の前奏曲集より第15番変ニ長調op.28-15『雨だれ』 (ピアノソロ)
- A.ピアソラ : リベルタンゴ (フルート&ピアノ)
- G.ビゼー : アルルの女 第2組曲より第3曲『メヌエット』 (フルート&ピアノ)
- G.カッチーニ : アヴェマリア (リコーダー&ピアノ)
- 作曲者不詳 : アメージング・グレイス (オカリナ&ピアノ)
- E.グリーグ : 抒情小品集 第8集op.65 より第6曲『トルロドハウゲンの婚礼の日』 (ピアノソロ)
- G.フォーレ : コンクール用小品 (フルート&ピアノ)



新原 輝美 / フルード



榊原 紀保子 / ピアノ

2024.9.21(土)

開場 13:30 開演 14:00

長泉町文化センター
ベルフォーレ ホール

入場無料 全席自由 事前申込等不要です

入場対象者 乳幼児を含めどなたでも入場できます

◎お問い合わせ先 三島森田病院 TEL: 055-986-3337



三島森田病院の森田療法とは

森田療法は、東京慈恵会医科大学 精神科の初代教授であった森田正馬（もりたまさたけ）が100年前に創始した神経症（不安症・強迫症等）に対する日本発の精神療法であり、現在の当病院の理事長・院長 森田正哉はその曾孫にあたります。本療法は薬物によらず症状を「あるがまま」に受け入れることで健康な日常生活を回復させていきます。本療法では、神経症の根底にある不安や死の恐怖は自然な感情であり、より良く生きようとする人間本来の欲望（生の欲望）と表裏一体の関係にあるものと理解します。にもかかわらず神経症の患者さんは、自己の不安を排除することに努力を傾ける結果、かえって不安が増幅し症状にとらわれていきます。本療法の核心は、このようなとらわれを打破することであり、太陽の光を浴び土に勤しむ農業や工芸を通じて生活のリズムを取り戻し、患者さんが自己の不安も生の欲望も自然な人間性として受容し、「あるがまま」の自己を現実にかかしていかれるよう治療していきます。尚、当初は神経症が対象とされておりましたが、ストレスの多い現代社会において薬物療法では限界のある難治といわれる多彩な症状に対しても、病態によっては本療法の効果が確認されております。

出演者 Profiles

新原 輝美（にいほら てるみ）フルート・オカリナ・リコーダー・鳥笛



武蔵野音楽大学卒業。在学中、福井直秋記念奨学金を得る。国立ドイツ北西デトモルト音楽大学院に留学。在学中にドイツ・ホーエンハウゼンで行ったコンサートでは、「聴衆に深い感銘を与えた」とリビッシェ・ルンドシャウ新聞に評される。同音楽大学院を最優秀の成績で卒業。帰国リサイタルを行い、好評を博す。大阪いずみホールにてコンツェルトをロイヤルチェンバーオーケストラ（故 堤 俊作指揮）と共演。トッパンホールデビューコンサートオーディション合格、コンサートのライヴ録音が BS デジタル放送で全国オン・エアされる。また札幌・ラジオノスタルジア、BSC 301、湘南ビーチFMに出演。その他多数のケーブル TV にもコンサートのライヴ模様がオンエアされる。横浜みなとみらいホールにおいて、「日本におけるドイツ年」認証公演の第3回に続き、ドイツ連邦共和国大使館の後援を得て第4回リサイタル"フルート&ハーブの饗宴"開催、好評を博す。現在、国内各地でソロ・室内楽・オーケストラ等、精力的な演奏活動 及び様々なコンサートの企画・提案を行っている。またリコーダー・オカリナ・鳥笛等にも持ち替えてのコンサートは珍しく、色々な笛の音色が楽しめるのと特に好評を博している。公益財団法人川越市施設管理公社 KFP 登録アーティスト BTHVN ウィーン国際音楽コンクール2位、ロンドン国際音楽コンクール2位（1位なし）、メディチ国際音楽コンクール1位。

<https://terumif03okt.wixsite.com/terumiflute>

榊原 紀保子（さかきばら きほこ）ピアノ



東京音楽大学卒業、同校研究科修了。大学在学中より数々の舞台に参加しており、港南区民ホール開館5周年記念オペラ《火の鳥～ヤマト編～》出演を皮切りに本格的な演奏活動を開始。その後2001年にチェコに渡り Prof. A. Vlasáková 氏の元で研鑽を積む。2002年・2005年には Talich 弦楽四重奏団とドヴォルザークのピアノ五重奏曲などを共演、アンサンブルピアニストとしての活動の幅を広げていく。現代作曲家との関わりも多く2006年にソプラノ歌手加藤千春氏と、芥川龍之介作・木下牧子作曲《音楽物語～蜘蛛の糸～》を共同委嘱。2003年からはオペラシアターこんにゃく座のピアニストを務め、47都道府県ほぼすべてで公演をおこなっている。また松本幸四郎（現・松本白鸚）主演の舞台《アマデウス》に2004年より音楽スタッフとして参加、チェコのヴァイオラ奏者 Vldimír Bukac 氏とは2002年より共演を重ねるなどジャンルを問わない豊富な実績と日本人離れした体格から奏でられる色彩豊かな演奏は器楽・声楽を問わず国内外の様々な演奏家から絶大な信頼を寄せられている。1986年鎌倉市学生音楽コンクールで音楽クラブ河野賞受賞。1996年 PTNA ピアノコンペティション G 級全国大会入賞。2001年東京文化会館新進音楽家デビューコンサートオーディション合格。2002年 JILA 音楽コンクール室内楽部門第1位。2005年大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門第1位。

- ・ 第9回公演：2024年12月28日(土) ヴァイオリン&ピアノ（長泉町ベルフォーレ ホール）
- ・ 第10回公演：2025年1月13日(祝・月) ピアノ ソロ（長泉町ベルフォーレ ホール）